



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報 なんと

NO. 2524

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 谷村修基会員



「善徳寺 雨の朝 対面所」

◆幹事報告

吉田 実幹事

- ①8月24日(火) 例会はガバナー公式訪問延期のため休会
- ②8月31日(火) は夜間例会 リモート懇親会です

◆委員会報告

久恵龍三委員長

- 社会奉仕 8/22(日) 開催予定の小矢部川親子ふれあいフェスティバルは新型コロナウイルス感染症の富山県ロードマップがステージ3に引き上げられた事により中止となります。(8/17中止の通達あり)

★ニコニコボックス

8/15 森 悦夫委員長

- 安居君 あんころ販売遅れてすみません。本堂に届けられていたようで探すのが大変でした。おいしそうです
- 荒井君 皆様お盆前中はありがとうございました。今後ともよろしく願っています。
- 川合君 例年はセミしぐれの中の早朝例会、今年は大雨の中気候変動の影響でしょうか。
- 片山道君 全中ソフトテニス大会。明日から娘もサポートとして参加。コロナ対策すごいです。正直怖いですが無事に帰ってくることを願っています。
- 山田孝君 早朝例会にて。
- 森 雄君 早朝例会に参加して。
- 榊 君 雨のお盆。本日祖母の7回忌です。合掌。
- 古瀬君 早朝例会。亀渕輪番の卓話よろしく願います。
- 船藤君 善徳寺にお参りして。亀渕輪番の法話楽しみです。
- 税光君 年に一度、先祖に思いをよせて。
- 井沢君 終戦記念日に際し不戦の誓い。
- 尾山君 亀渕輪番様をお迎えして。合掌
- 古軸君 いつもより涼しいお盆、善徳寺での例会に参加して。
- 木村君 今日は寒く感じる天気ですがお盆でゆっくり休みましょう。先祖様に感謝の思いです。
- 岡部君 うつらないうつさないナント困ったデルタ株。豪雨にあわず清々しいお盆を迎えて。
- 高野君 本年もおまいりすることができました。感謝。
- 片山浩君 善徳寺の例会、輪番さんの法話たのしみです。
- 松村君 今年も早朝例会に出席できました。懐かしい会場です。
- 北島君 盆前中はありがとうございました。またよろしく願います。
- 吉田君 亀渕輪番様、本日卓話よろしく願います
- 山田清君 今日は一日中あんころです。息子とふたりで30は食べます。
- 森 悦君 お盆は雨続きで残念でしたが気温も下がり過ごしやすくなりました。亀渕輪番様の法話楽しみです。
- 牧 君 生憎の小雨でしたが、今はやんで清々しいですね。

第2583回例会 令和3年8月15日(日)曇・長雨あがる

《お盆早朝例会》城端別院善徳寺「新講堂」

- ◆点 鐘 6:15 北島芳信会長
- ◆司 会 片山道代SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト 城端別院善徳寺輪番 亀渕 卓師
- ◆会長の時間 北島芳信会長



今年もここ城端別院善徳寺様で恒例のお盆早朝例会を開催します。私のような日頃不信心な者でもこのような古刹に早朝お参りしますととても清々しい気持ちになり有難く思います。

別院の一翼を担う大谷婦人会は清掃奉仕や仏具磨き仏教講座など様々な場面で活動しています。今、私の母が会長職を勤めておりますが話を聞くと一番重要な仕事が7月下旬の虫干法会での大谷貞子=写真=の遺品展示とその語りであります。

大谷貞子は明治23年善徳寺住職の一人娘として誕生し22歳で東本願寺元法主の第4子と結婚しましたが、病弱で大正3年に24歳で逝去されました。貞子は両親が華族の出身であり婦道を身につけ仏法への信仰も篤く貞子姫と呼ばれて城端の人々のあこがれの的でした。また6歳で母を、13歳で父を亡くし結婚1年8か月後に亡くなるという悲劇的な人生も同情を呼び多くの人々に哀惜の感情を植え付けました。

大谷婦人会では虫干法会の期間中に大谷貞子の遺品について説明を行うようになりましたが、貞子の遺徳を偲ぶとともにこれを「縁」として拝観者にまた善徳寺にお参りしてもらうことが目的だといわれます。新婚生活を送った新御殿で貞子姫の遺品の語りは誰に何を問いかけようとしているのでしょうか。貞子姫の薄幸の生涯の間に育まれてきた篤い信仰の遺徳を受け継ぐのは容易なことではないでしょうが一貫して女性たちは貞子姫を畏敬し遺徳を偲んできました。貞子姫は死してなお善徳寺と大谷婦人会など女性門信徒をしっかりと結びつけてきたのであります。



品語りは誰に何を問いかけようとしているのでしょうか。貞子姫の薄幸の生涯の間に育まれてきた篤い信仰の遺徳を受け継ぐのは容易なことではないでしょうが一貫して女性たちは貞子姫を畏敬し遺徳を偲んできました。貞子姫は死してなお善徳寺と大谷婦人会など女性門信徒をしっかりと結びつけてきたのであります。

本日のプログラム 8月31日(火) 第2584回例会

《例会変更》夜間例会・リモート懇親会

親睦活動委員会 安居利浩委員長

◆出席報告

谷村修基出席委員長

会員数	8月15日出席率	8月3日の修正
44 (免除0)	65.91% (欠15)	75.00% (欠11・メイク0)

次回の予定

9月7日(火) 第2585回例会

ロータリー雑誌・広報セミナー

雑誌・広報委員会 松村 壽委員長

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



空勝僧都とは誰？

今年は別院にとって大切な行事、第6代空勝僧都四百回忌の年に当たりますがコロナ禍が終息していないので来年に延期となりました。

空勝僧都は天文10年（1541）越前鯖江の西光寺に生まれ、元和8年（1622）82歳で逝去されています。

浄土真宗の系譜で親鸞から数えて第5代の綽如上人は井波の瑞泉寺を建てていかれたがその三男坊周覚の長男が永存で、越前鯖江の西光寺の開基とされた。本願寺8代の蓮如が永存の子蓮真に命じて加賀の砂子坂に善徳寺をつくり上げた。善徳寺では蓮如を寺の初代、蓮真を2代と数える。

男子相続で3代実円のとき寺は法林寺をへて山本へさらに福光に移転。4代円勝、5代祐勝と相続したが、この時、荒木大膳の請いにより城端に寺基を移転する。一向一揆の拠点として平地の福光から要害の地へ移る意味もあった。

祐勝には男子がなかったため、娘に鯖江西光寺から永存の子孫である空勝を迎えて6代目住職とした。

織田信長と大坂石山本願寺との合戦

さて元亀元年(1570)織田信長と大坂石山本願寺との合戦がはじまった。信長は尾張の一大名でしかなかったがだんだん力をつけろんなところを自分の領地として攻め取ってゆく。永禄10年稲葉山城を攻め取り岐阜と改名。

「天下布武」の印を使い始める。まだ群雄割拠の時代、元亀元年になってようやく信長は中央の朝廷に容れられる。



姉川合戦などがありついに永禄13年になって石山合戦を起す。東に武田、西に毛利などがまだ邪魔をしており交通の要衝に石山本願寺があってこれは一向一揆と一味であり信長には目の上のタンコブということで

合戦が始まった。中世には大阪城の近くまで難波の入江が入り込み大きな水路もあってお濠のように廻りを取り囲んでいた。お城として最適なところに本願寺があったのです。当時の法主は顕如で石山本願寺におり信長から戦を仕掛けられる。空勝僧都はいつのころからか石山合戦に参加したのかはわからないが五箇山から塩硝（火薬のもと）を本願寺に送りとどけている。和歌山の南の方に雑賀衆という門徒の鉄砲衆もいた

海上から豊富な物資が届けられるなどで石山合戦はなかなか終息せず10年におよぶ。もっともいつも戦争をしていたのではなく農繁期など小止みもあった。しかし ↗

武士と坊さんでは力の差は歴然、時の天皇の仲介でいったん和平を結ぶことになった(天正8年)。しかし和平派の11代顕如と息子教如=写真の路線の違いが明らかになり、顕如は退城し教如は徹底抗戦（大坂拘(かかえ)様(さま)）するが武士には勝てず天正8年（1538）8月大坂の城を明け渡す。しかし城はその後焼失してしまう。この大坂拘様のとき教如上人から空勝にあてて早速一味してくれてありがとうねというご消息があってそれが現在別院に伝わってっています（笠紐のご消息）

教如上人御消息
（笠紐の御書）

「たとひ入眼の儀である顕如との親子義絶がとけることがあってもあなたの身分は保証しますよ」このご消息が別院にとってもとても大切なものになってくる。



空勝と東西の分派

空勝僧都の尊像縁起が別院に伝わっている。

「当壇御厨子の中に安置し奉るは善徳寺第6世空勝僧都の座像なり=写真=。そもそもこのお方は性質剛勇大力無双にして御身の丈は七尺有余弓馬剣術も人に優れ、ことに長刀の名人なり。時しも天正年間石山合戦の折からなれば、僧都自ら軍配をとりて…」そういう方で

した。その軍配も当時のものがそのまま残っております。最終的に本願寺は石山合戦中から顕如派、教如派ができておりまして、それぞれ分かれてゆくような様子でした。

教如は徳川家康にいろいろ情報を提供しており後に家康は重臣本多正信の進言により東西を分派することにし、教如が京都東六条の地を賜り東本願寺を創建する。空勝は石山合戦の最中から教如につき、越中における東方触れ頭寺院として地位を築くことになります。

東西にわかれても門徒はともに親鸞聖人のお志を伝えて現在の私たちにつながっています。



善徳寺では1年中1日も欠かさず早朝と午後読経と法話がなされている

(今回の会報担当・松村 壽)